

2月号 子どもの才能の扉をひらくモンテッソーリ教育

自立の第一歩！ 【自分でご飯を食べる】

自分でご飯を食べたがり手を出すようになったら、その時は親が食べさせずに、少し様子を見ながら、自分で食べさせてみましょう。食べやすい、持ちやすい、すくいやすいもの、食べ物だけじゃなくスプーンやフォーク、お椀など食具も使いやすいものに変えていけると良いでしょう。自分で食べる事は、自立への第一歩です♪少しずつでも自分で食べる準備をして、最後まで自分で食べ、片付けをする習慣をつけていけるとよいですね。



自分で食べられると嬉しいね♪

つかまり立ちをする生後10か月ごろから手を使う動きが目立ってきます。1歳半を過ぎると手に力が付き、触わりたい、動かしてみたい、自分でやりたいという欲求が強くなってきます。身体がぐんぐん大きくなり、運動器官が発達していくこの時期に子どもの発達段階に合わせ、動きを洗練させる玩具を遊びの中に取り入れていけるといいですね。動きを繰り返すことで、一步一步成長します。と同時に、この時期は一つひとつの動きを自分で覚え、動かすことで満足感を味わい、自立しようとしています。

モンテッソーリのお仕事【あけ移し】

家にあるもので、簡単にご飯を食べることの練習ができます。動きを繰り返す行うことで、指先の洗練や手首、腕の力の調整がスムーズに出来るようになり、指先を強化することで脳が豊かに育まれます。大切なことは、お母さんがゆっくり見本を見せること。何度も繰り返し行い、使い方の練習をしていきましょう。



「スプーンですくって、隣のお皿に移動します。」